

# ふるさとを愛する心を育てる

## 大野市乾側小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	4回
地域及び家庭への学校公開	11回のべ11日

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	31人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	1584人
その他 (学校行事への地域の方参加数)	123人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

#### ① 地域の人材を活かしたふるさと学習

- ・5・6年生の総合的な学習の時間では、上丁 (かみようろ) 地区のホテル調査や、水質調査、水生生物の調査を通して、ふるさと日詰川の水環境について学習を進めた。外部講師に上丁地区の方や田んぼの学校の方をはじめ、県ホテルの会長さんを招いて、日詰川の水質の現状や、社西地区のビオトープ作りの経緯などを聴くことができた。また、児童は県ホテル環境サミットにも参加して取組を発表した。
- ・3・4年生は尾永見 (おながみ) 地区に伝わる「雨乞い踊り」についての学習を進めた。雨乞い踊り保存会の3名を招いて、踊り方や笛や太鼓の演奏の仕方などを学んだ。今年も学習の成果を大野市の文化祭、ふるさと学習交流会、本校で行うふれあい集会で、寸劇を交えて発表し郷土に伝わる伝承文化について理解を深めた。



#### ② PTAや地域と連携した合同行事の開催

- ・5月18日「田植え集会」をアバンセ乾側、JA大野北支店の職員の方々の指導と、保護者の方々の協力を得て実施した。
- ・6月18日「ホテル鑑賞会」上丁地区センターに参加した。5, 6年生がホテルについて調べたことを発表した。
- ・8月28日「資源回収・奉仕活動」をPTAと連携して実施した。
- ・10月13日「稲刈り集会」をアバンセ乾側、JA大野北支店の職員の方々の指導と、保護者の方々の協力を得て実施した。



- ・11月6日「ふれあい集会」で、学校田で収穫したタンチョウ餅米を用いて、餅つきを行った。地域の方々と一緒にお餅の会食をした後、ふるさとをテーマにした学習発表会を実施した。
- ・12月16日「子育て講演会」で、大野市図書館司書の方が、「親子読書のすすめ」と題して、親子で講演会を聴いた。
- ・2月3日「ふるさとのつどい」を実施した。昔の伝承遊び（おはじき、お手玉、コマ回し、けん玉、羽子板など）で、地域のお年寄りの方々から遊び方を教えてもらうなど、交流を図った。



### ③ 家庭や地域の教育力を高める取り組み

10月3日に「校区座談会」を実施した。「地域で育てる教育力（ふるさとを愛する心）」をテーマに、青少年健全育成大野市民会議会長をお招きして、講話をしていただいた。地域の教育力がなぜ必要なのかという問いかけから



始まり、地域にある素晴らしい技・伝統に触れ、より豊かな体験をすることで、子どもたちの育つ環境がよりよいものになっていくという認識を新たにした。その後は地区ごとにグループに分かれて、ふるさとを愛する心を育てる取り組みについて話し合った。

## 2 成果と課題

### (1) 成果

- ・地域と連携した学校行事を重ねたり、地域の人材を活用したりすることで、学校と地域との絆が深まってきている。児童もふるさとを大切に思う心を醸成することができた。また、本校の教育活動を、学校だより・学年だより・保健だより等を定期的に配布することにより、保護者はもとより地域への情報発信をし、学校の活動を広く理解してもらえるようになった。
- ・毎年地域との連携した行事を積み重ねることにより、よりスムーズな連携をとることができている。学校行事の準備・後始末などは、保護者・地域との協力体制が確立している。

### (2) 課題

- ・学校の取り組みを、地域学校協議会委員の方に見ていただくために、3回目の協議会で授業や清掃参観などしていただいたが、今後も早い時期から見ていただくように時期を考えていきたい。
- ・校区座談会や教育講演会など、地域の方と保護者が同じ話題で話し合う機会をもつことは大変有意義である。今後もより積極的な参加となるように、内容や会の持ち方を工夫していく必要がある。